

議 事 (3) 令和6年度宮城県美術館事業の実施状況(計画)について

1 美術作品等の展示

(1) 所蔵品展示

県内外の美術館等で所蔵品の巡回展示を実施する。

- イ 「宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展」
ひろしま美術館 [7. 6 (土) ~ 8.18 (日)]
- ロ 「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション
カンディンスキー、高橋由一から具体まで」展
神戸ゆかりの美術館 [10. 5 (土) ~ 1.26 (日)]
久留米市美術館 [2. 8 (土) ~ 5.11 (日)]
- ハ 「移動美術館 佐藤忠良展」
石巻市博物館 [8. 3 (土) ~ 9.29 (日)]
しばたの郷土館 [10.19 (土) ~12.15 (日)]

(2) 高精細レプリカ展示

県内施設で高精細レプリカの展示を実施する。

- イ 「宮城県美術館 高精細レプリカ名作展」
栗原市文化会館 (アポロプラザ) [6.14 (金) ~ 6.23 (日)]
気仙沼市 はまなすの館 [6.29 (土) ~ 7. 4 (木)]
蔵王町ふるさと文化会館 (ございんホール) [7.13 (土) ~ 7.21 (日)]
丸森町資料展示収蔵館 まるもりふるさと館 [10. 5 (土) ~10.13 (日)]

2 教育普及活動

(1) 出張教育普及プログラム

県内巡回展と連動し、関連イベントとして創作室の機能や特性の一端を県内の施設に持ち出し、自由に創作できる場を設けたり、子ども向けのプログラムや一般向けのワークショップを展開する。

イ 公開講座

- (イ) 「移動美術館 佐藤忠良展」に合わせて参加体験イベントを全2回(石巻市、柴田町)実施する。
- (ロ) 「高精細レプリカ名作展」に合わせて参加体験イベントを全4回(栗原市、気仙沼市、蔵王町、丸森町)実施する。

ロ 美術講座

(イ) 地域住民を対象とした館外での社会教育事業として、「まちなか美術講座」を東北工業大学と連携して同大学一番町ロビーにおいて全4回開催する。

「宮城県美術館コレクションものがたり」

- ・ 洲之内コレクションだけじゃない！—名前の付いたコレクションの話

[6. 1 (土)]

- ・ 「こどもの絵」の美術史—パウル・クレーを中心に

[8. 31 (土)]

- ・ 東北の宮城県美術館 日本画コレクション

[10. 26 (土)]

- ・ 近代絵画の風景散歩—所蔵作家の描いた場所（東京付近）を辿る

[12. 14 (土)]

(2) 学校との連携事業

イ 学校アウトリーチを7広域圏で20回実施する。

ロ 院内学級出前授業を、相手方の実状や希望を踏まえながら調整して行う。

(3) 展示関連事業

所蔵品展示、高精細レプリカ展示の会場にて、講演会や展示解説等を実施する。

3 美術作品等の収集・保存

基礎調査と美術品収集専門部会の審議に基づいて、美術作品等の収集を行うほか、美術作品等の保存にも努めることとし、専門の修復工房等による修復を行う。

4 美術に関する調査・研究

美術館事業を充実させるための基礎となる所蔵作品の調査・研究のほか、作品の展示方法、保存・整理及び教育普及活動等に関する調査・研究を継続的に実施する。